

三心を磨く

学校だより NO. 26

平成29年1月6日(金)発行

須坂市立 東 中学校

文責：奥 幸雄(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

3学期始業式校長講話 1月6日(金)

「私を、私らしくする責任者は、私である」

平成29年の初めに当たり、新年の挨拶を、全員でさわやかにしたいと思います。
「新年、明けましておめでとうございます」

年末から年始にかけて、比較的穏やかで、澄んだ青空の毎日が続きました。8日間あった年末年始休業でしたが、3年生は進路実現に向けた学習に取り組めたでしょうか。また、全校のみなさんは、家族と共に過ごす時間を、大事にできたことと思います。

今日から3学期が始まります。2学期終業式の折、1月6日には、全員が新しい年への決意を胸に、元気にさわやかに登校してほしいと話をしました。今朝は寒さが一段と厳しく感じられましたが、その寒い分、3学期のスタートに当たり、気持ちが引き締まるこの感覚を大事にしたいものです。

さて、3学期は、48日しかない短い学期です。しかし3年生にとっては、義務教育9カ年の最後の48日間であり、自分の進路を具体的に決定し実現させていかなくてはなりません。2年生にとっては、自分自身を磨きつつ、東中学校を、そして東中学校生徒会をどうするのかを、固めていかなくてはなりませんし、修学旅行の準備も本格化させなくてはなりません。1年生は、一段と力をつけるとともに、新入生に対して、自分は何ができるのかを考える時期でもあります。それぞれの学年の、一人一人の足跡が自分自身を創るとともに、東中学校を創っていくわけです。そのように考えると、3学期は、48日間という短い3学期ではありますが、一日一日が、とても大切になってきます。

今、代表の3人の人が、3学期に寄せる決意や思いを立派に発表してくれました。その学年、その人ならではの決意であり、とても立派だと思いました。聞いていたみなさんは、どんな決意や思いを持って、3学期を始めようとしていますか。そのようなみなさんに、今日は『自分を律する』ということについて、話をさせてもらいます。

しばらく前のことになりますが、私が勤務していた学校に、私より年上で、40歳代の先輩の先生がいました。後輩の私に、生徒との接し方や授業の進め方等、いろいろなことを親切に教えてくれた先生でした。常に笑顔を絶やさず、温厚で誠実な、素晴らしい先生でした。しかし、間違っただけをした生徒には、烈火のごとく怒る等、物事をきちんと判断して対処される先生でもありました。私は当時、あのような先生になりたい、あの先生の「凛」とした姿は、どこから来るのかとっていました。

ある日、その先生の職員室の机の上に、小さな紙が張ってあるのが目に留まりました。その紙には「私を、私らしくする責任者は、私である」と書かれていました。その先生は、教室に行くたびに、そして、教室から帰ってくるたびに、「私を、私らしくする責任者は、私である」を目にし、自分自身に言い聞かせながら生活していたのです。心がけ一つで、このように自分を律することができるものかと、改めて、その先生から、学ばせてもらった気がしました。

自分の人生は、誰かが責任をもってくれるわけではなく、最終的な責任者は、自分自身です。3年生のみなさんは、進路選択をしながら、そのことが分かってきているのではないのでしょうか。

全校のみなさんにとっては、どうすればよいかというと、一日の学習や生活に対して、「自分から進んで取り組む自分」になるように努めることだと思います。毎時間の学習や清掃、挨拶、委員会活動に、「自分から取り組めた一日であったか」、「自分で考えて判断し、行動できた一日であったか」を大事に振り返りながら生活することが、自分に対して責任をもつことになるのだと思います。

48日間という短い3学期。しかし、来たる4月には、それぞれが新たなステージで生活を始めることとなります。その準備をする大切な3学期です。どのように自分を成長させるのか。どのような自分を目指して、一日一日を過ごすのか。その責任は、自分にあります。私を、私らしくする責任者は、私です。

短いですが、充実した3学期になることを期待します。



1月5日(木)に、職員で非違行為防止・心のケア・授業改善の研修に取り組みました。

授業研修では、学校長が職員を対象に模擬授業を行いました。教科は数学で、ICTを用いた小集団の学習の授業でした。

3学期、さらに授業の質を高め、家庭学習・補習等に取り組み、学力向上に向けて努力をしております。

本年もよろしくお願いいたします。